

滿洲風土

田口稔

立

東亞新書

滿洲風土

田口 稔

著者
檢印

【田文協承印】
ア10030號
5000部



昭和十七年三月二十日印刷
昭和十七年三月廿五日發行

編者

著者

發行者

印刷者

配給元

發行所

東亞新書
滿洲風土

●定價一圓二十錢

滿鐵弘報課

田口稔

東京市麴町區丸の内二ノ二
湯川龍造

東京市小石川區久堅町一〇八
大橋松雄

東京市神田區淡路町二ノ九
日本出版配給株式會社

東京市麴町區丸の内二ノ二
丸の内ビルディング五八八

中央公論社

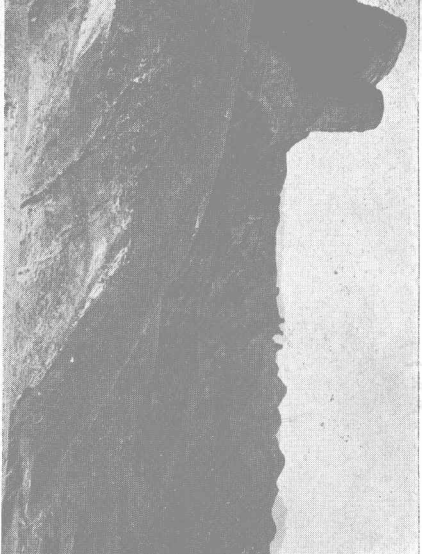
振替口座東京三五四
電話丸の内五三五一五三八

序

滿洲風土はそれ自體の渾一性に於ては固よりその獨自性を表現するが、これが自然並人文上の基礎を分析解明する場合には、立地する國土の周邊諸國からする夫々の遷移地域より構成せられてゐることに氣付く。換言すれば、この國は相異なる四周の風土形態の巧に複合せられた地域であり、その意味に於て東亞大陸の内でも一つの典型的な中心區を成してゐると謂へやう。然しながら風土の自然的條件は強ち悉くが恒久性を保ち得るものでなく、もろもろの國土の面貌が寸時も休まず變改せられて行きつゝある如く、滿洲の大地の上にも日に日に生成發展する文化的の諸面を吾人は容易に把握することが出来る。特に今世紀初頭以來の滿洲は處女地として遺された自然景觀の上に點々として東洋的ならざる文化の被覆して來つゝあるのを見たが、更に滿洲國誕生後に於ては、その勢が全面的に擴充されつゝあると云はねばならない。この若い國土に息づく人類が自然の制約を承認しながらも、その逞ましい意志のまにまに如何に風土の内容へ向つて戰つて行きつゝあるかを見るならば、東洋に於て最も後れて歟を入れた國だけに、一層に多くの生々しいデータが集まるであらう。

滿洲風土の把握は風土的なる許多の素材の完全な消化とそれらの有機的なそして巧な織成とによつてなし得る。本書はそのいづれをも果し得ない貧しき作品に過ぎないが、只、今日まで此のテーマに對して書かれた成書を見ないため、最初の試として多少の意義を有つてあらうし、又著者としても風土的素材の取上げ方に聊かの考慮を拂つたのであつた。

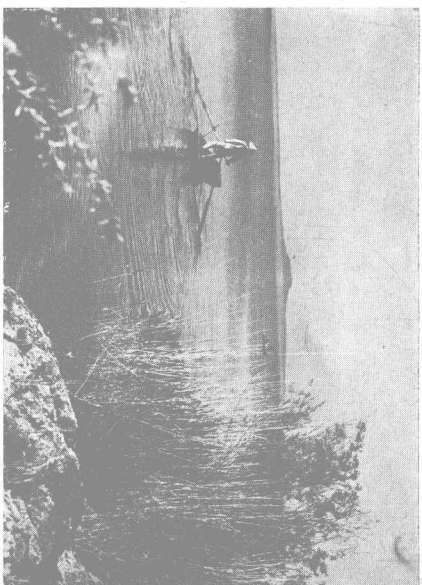
大連にて 田 口 稔



1 熱河省の山形



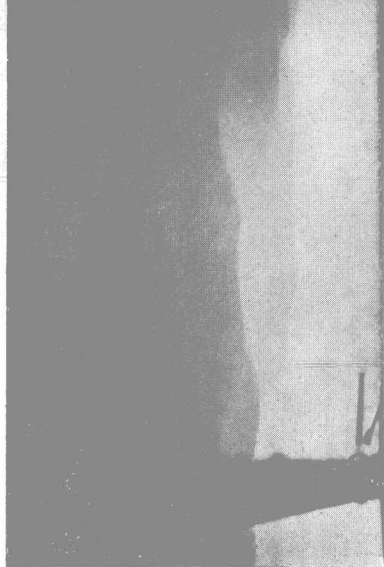
2 呼倫貝爾の沙漠



3 五太運池の火山



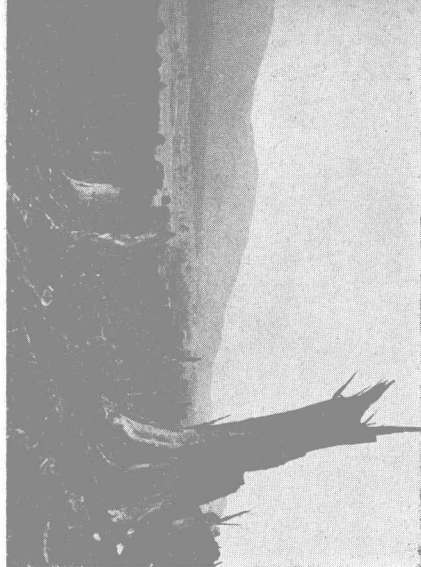
4 松花江の解氷



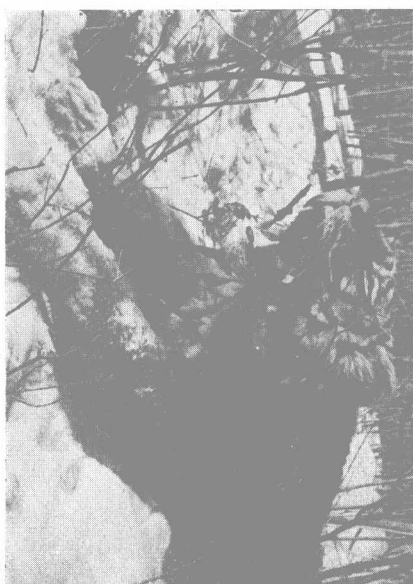
5 東満洲の樹海



7 北満洲の白樺の林相



6 東満洲森林の燒跡



8 満洲虎



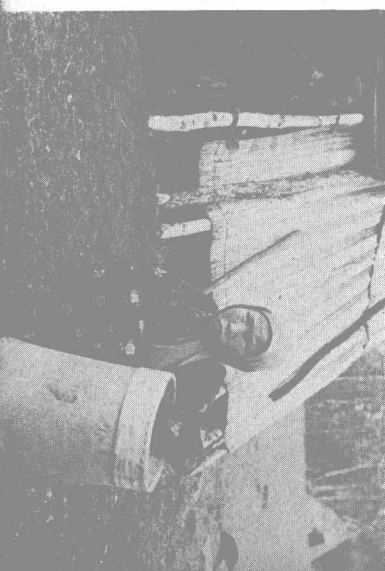
9 ノロ



10 鯉



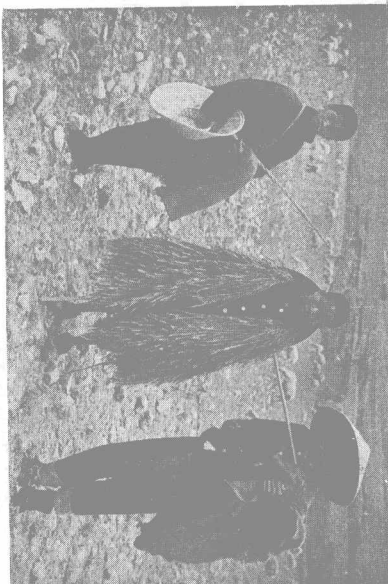
11 ギリド族のシャイマンの頭



12 オロチヨ族の娘



13 満洲族の旗人



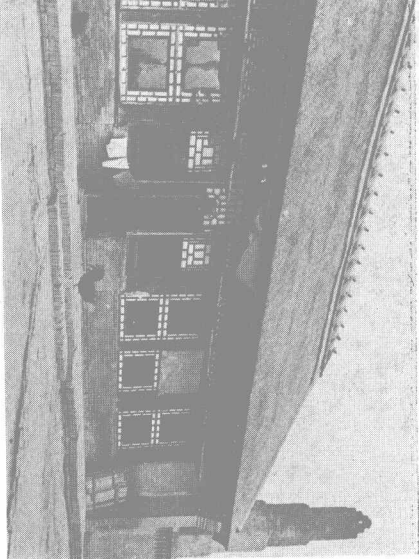
15 漢族の牧童



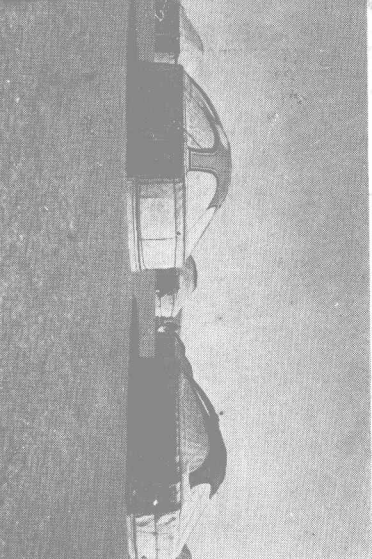
14 蒙古族の子供



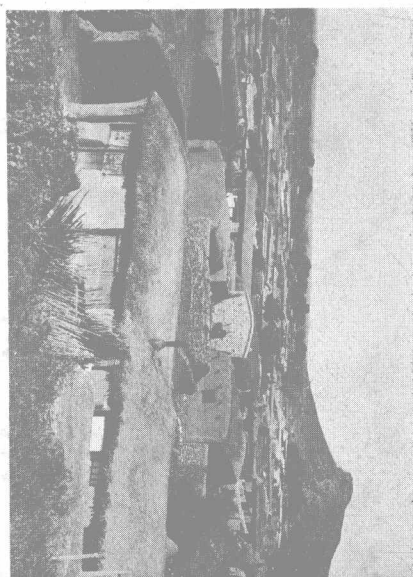
16 開拓民の家族



17 満洲族人の家



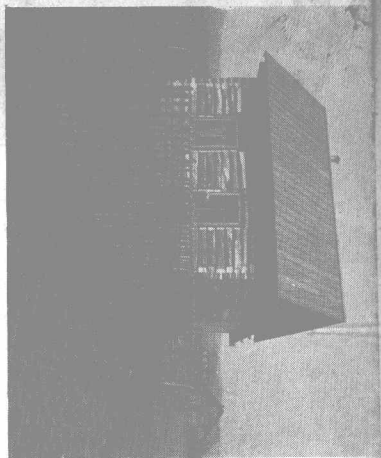
18 富貴なる蒙古族の包



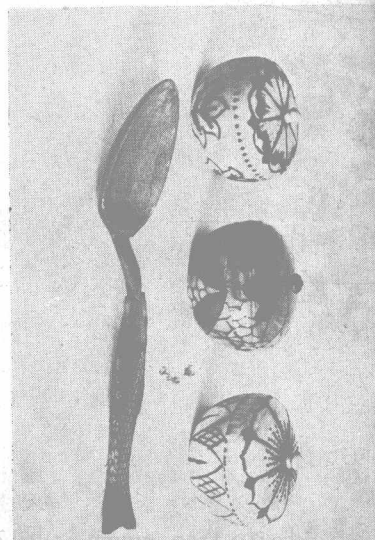
19 漢族の平房子



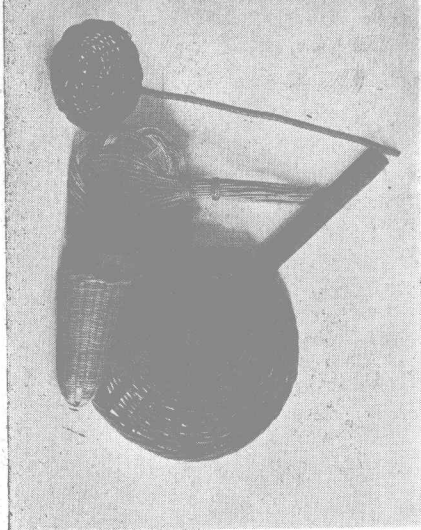
20 朝鮮人の民家



21 歸西亞人の木造住宅



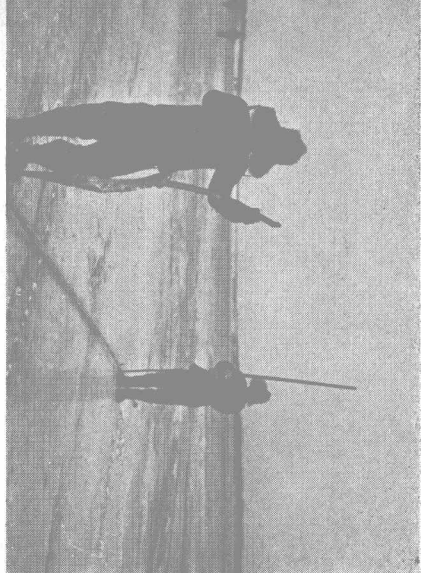
23 歸西亞人の造る白磁細工



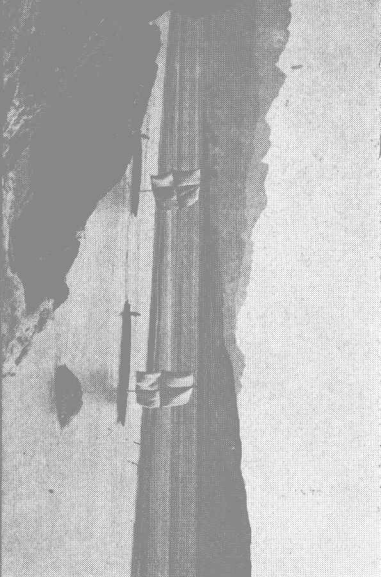
22 漢族の造る柳條細工の笊



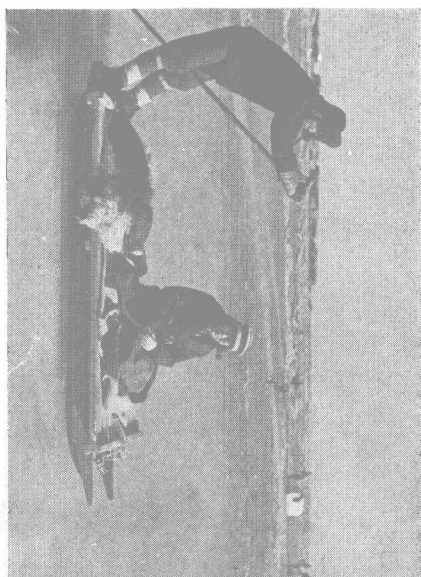
24 點葫蘆



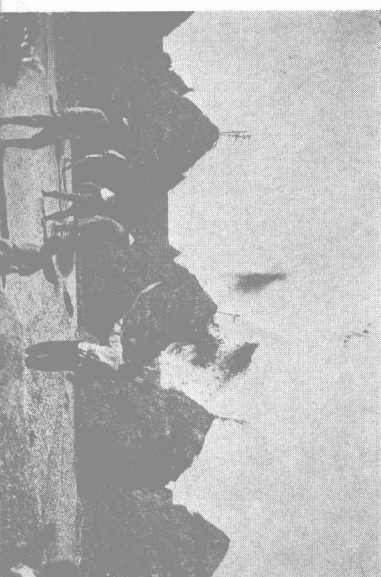
25 河上の冬季漁具としての穿氷器



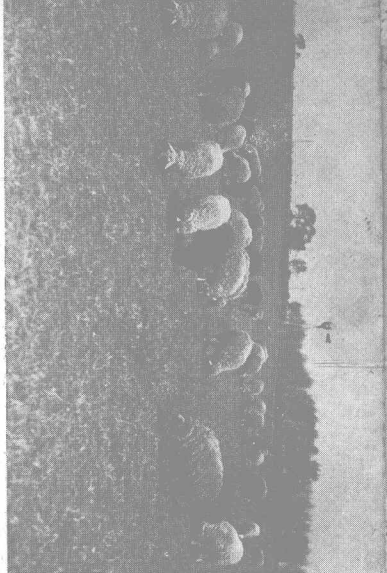
26 瀬河の川舟



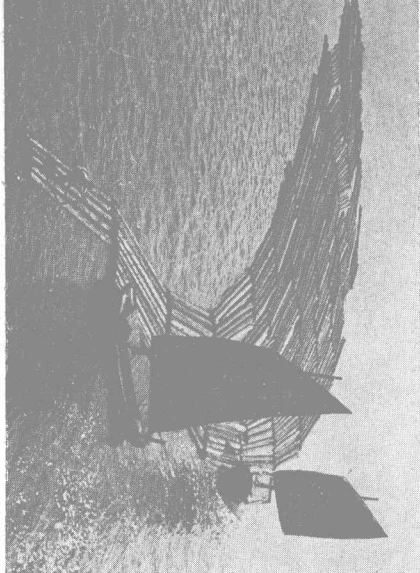
27 凍った河上の橋



28 大豆の風運



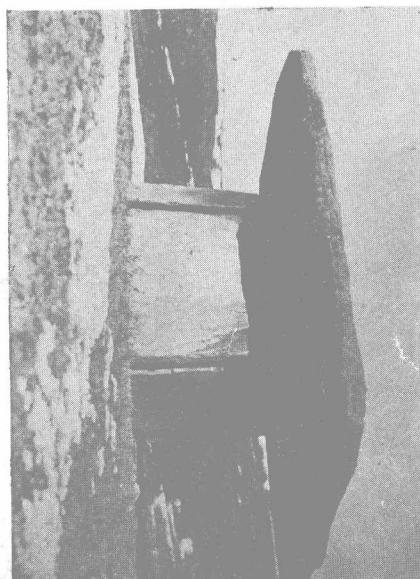
29 綿羊の放牧



30 編筏



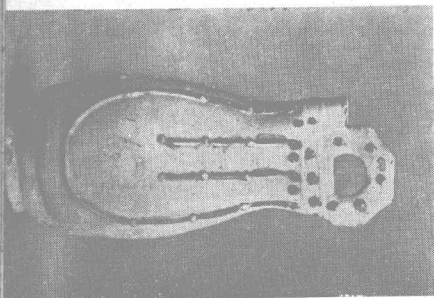
31 嫩江の冬季漁業



32 析木城のドルメン

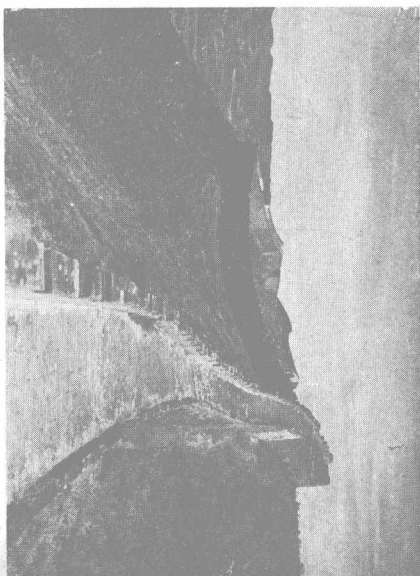


33 輯安古墳の壁畫

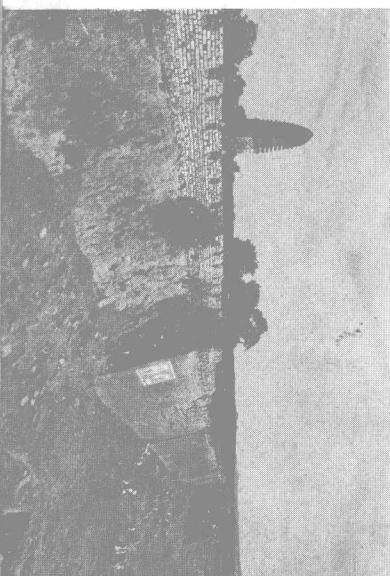


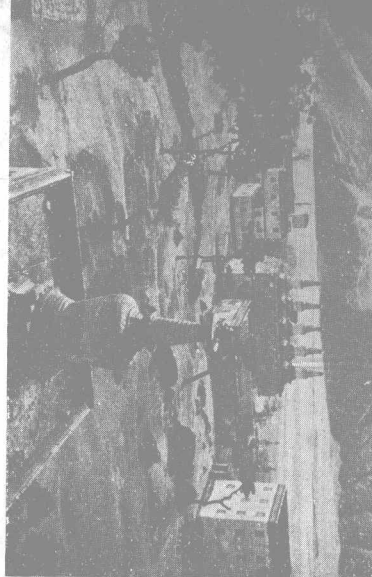
34 鸚冠壺（左右共に）

35 古北口に於ける萬里長城

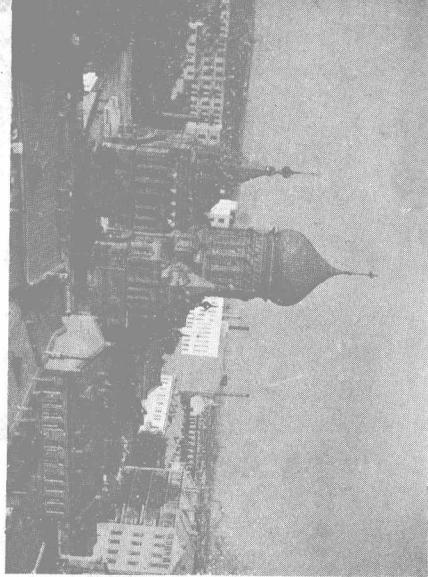


36 義縣の城壁と佛塔

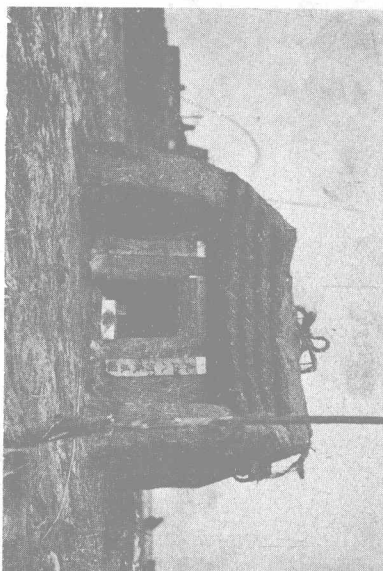




37 承德の普陀宗乘廟



38 哈爾濱の聖ツライヤ會堂



39 嫩江の岸の河神廟



40 嘲麻踊の假面

第一部 風土の基底

大地の彫刻

氣候の推移

植物の群落

動物の棲息

人種の多様性

第二部 風土の在り方

村落と都市

衣食と民具

産業形態

史前への追跡

美術への思慕

民間信仰

風土病

一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

文學的描寫

風土の變化・發見・構成

寫眞

熱河の山形

呼倫貝爾の沙漠

五大蓮池の火山

松花江の解氷

東滿洲の樹海

東滿洲森林の燒跡

北滿洲の白樺の林相

滿洲虎

ノロ

鯉

ゴリド族のシャーマンの呪

第一中扉ノ次

五 空